

事務事業チェックシート

事務事業No 704 事業名 外国人講師・国際交流事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	1	国際化・情報化に対応した教育の推進

事業種別	継続	
事業期間	～ 永年	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	市立和歌山高等学校	勝本 泰弘(461-3690)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		高等学校費	
	目		高) 学校管理費	
	大事業		高等学校管理事業	
事項		外国人講師・国際交流事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	生徒の国際化を図る	外国人講師を招致し、生徒の英会話能力の向上を目指す。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		全商検定のスピーチコンテスト県大会で優勝、奨励賞各1名、全国大会へ出場。	全商検定のスピーチコンテスト県大会で優勝1名、4位1名、5位1名。全国大会出場し、12名決勝進出した。	全商検定のスピーチコンテスト県大会で優勝1名・奨励賞1名で、1名全国大会出場。		

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	4,538	4,453	4,538	4,608	4,538	4,520	4,538			
伸び率 (%)	-	-	0.0%	3.5%	0.0%	▲1.9%	0.0%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	2,200	2,220	2,200	2,186	2,189	2,244	2,349		
	正規職員以外							2,137		
小計	2,200	2,220	2,200	2,186	2,189	2,244	4,486			
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	4,538	4,453	4,538	4,608	4,538	4,520	4,538			
所要人数 (人)	正規職員	0.29	0.30	0.29	0.29	0.29	0.29	0.3		
	正規職員以外							0.38		
主な予算内訳	非常勤講師報酬 3,840千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	達成度 (%)	実績値	達成度 (%)	実績値
活動指標 外国人講師の雇用人数	人	目標値	1	1	1	1	
		実績値	1	1	1		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標 英会話授業実施時間数	時間	目標値	735	735	735	735	
		実績値	735	735	735		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 全商英語検定合格者率 (1級・2級)	%	目標値	30	30	30	30	
		実績値	34.78	44	50		
		達成度 (%)	115.9%	146.6%	166.6%		
		目標値	30	30	30	30	
成果指標 日本英語検定合格者率 (2級・準2級)	%	実績値	32.75	32.14	25		
		達成度 (%)	109.2%	107.1%	83.0%		
		目標値					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生徒の国際化を図り、生徒の英会話能力の向上を目指した。
見直し・改善内容	スピーチコンテストの上位入賞、より多くの英検合格を目指す。